

革新的がん医療実用化研究事業 令和5年度 事後評価実施課題一覧

※所属は、評価実施日時点

No.	開始 年度	終了 年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
【領域1】がんの本態解明に関する研究						
1	R3	R5	石川 俊平	東京大学	教授	がん病理組織情報の構造化によるがん精密医療の均てん化
2	R3	R5	河野 隆志	国立がん研究センター	分野長	RNAスプライス変異・構造変化を網羅的に検出する臨床導出可能な精緻情報解析システムの開発
3	R3	R5	寺尾 知可史	理化学研究所	チーム リーダー	体細胞モザイクのがん発症および予後因子としての意義解明の開発
4	R3	R5	浜本 隆二	国立がん研究センター	分野長	機械学習/深層学習技術を活用したpan-negative肺がん症例のバイオマーカー探索と臨床的有用性の検証
5	R3	R5	坂田(柳元) 麻実子	筑波大学	教授	悪性リンパ腫における異常間質細胞の多様性と臨床的特性の解明
6	R3	R5	土屋 直人	国立がん研究センター	ユニット長	CMTM6による細胞内・細胞間情報伝達制御を標的とした革新的核酸医薬の創出
7	R3	R5	井上 大地	神戸医療産業都市推進機構	部長	BRD9スプライシング異常との合成致死性を利用した新規治療戦略の開発
8	R3	R5	河口 浩介	国立大学法人京都大学	助教	リンパ節免疫微小環境を標的とした新規乳癌治療戦略の開発
9	R3	R5	小林 祥久	国立がん研究センター	研究員	遺伝子増幅による薬剤耐性獲得を治療前から予測するバイオマーカーの研究
10	R3	R5	永澤 慧	東京大学	特任研究員	非浸潤性乳がんの治療精密化に資する、多細胞遺伝子ネットワークに基づく新規リスク診断法の開発
11	R3	R5	松崎 潤太郎	慶應義塾大学	准教授	消化器がん形成過程における細菌由来RNAを介した細菌・宿主間情報伝達の解明と血中RNA診断への応用
12	R3	R5	村上 紘一	慶應義塾大学	助教	単一細胞における遺伝子・蛋白質発現同時解析によるT細胞リンパ腫の病態解明
13	R3	R5	山岸 誠	東京大学	准教授	シングルセルゲノミクスを用いたNOTCH1変異クローンの特性解明及び新規治療法と層別化アルゴリズムの開発
【領域2】がんの予防法や早期発見手法に関する研究						
1	R3	R5	佐川 元保	東北医科薬科大学	特任教授	低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究
【領域3】アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究						
1	H31	R5	野崎 要	国立がん研究センター	医員	進行肺癌の血漿遊離DNAを利用したマルチ遺伝子解析法に基づく個別化医療の確立を目指した研究
2	R3	R4	藤澤 孝夫	国立がん研究センター	医員	SCRUM-Japanの基盤を活用したNFE2L2遺伝子変異を有する喫煙関連扁平上皮がんに対するsapanisertibのコンパニオン診断薬開発に関する臨床性能試験
3	R3	R4	岡野 晋	国立がん研究センター	医長	SCRUM-Japanの基盤を活用したNFE2L2遺伝子変異を有する喫煙関連扁平上皮がんに対するsapanisertib（TAK-228）の医師主導治験
4	R3	R5	遊佐 宏介	京都大学	教授	難治性乳がん、及び卵巣がんに対する新規CDK12阻害剤の非臨床試験
5	R3	R5	山田 哲司	東京医科大学	客員教授	がん遺伝子MYCの転写を標的とした治療薬の開発
6	R3	R5	仲 哲治	岩手医科大学	教授	癌と間質を標的とした抗体薬物複合体による膵臓癌の革新的治療法の創出を目指した研究
7	R3	R5	松島 綱治	東京理科大学	教授	難治性胃がんを対象とした新規FROUNT特異的阻害薬の開発研究
8	R3	R5	船越 建	慶應義塾大学	准教授	HER2陽性の進行期乳房外パジェット病に対するトラスツズマブ エムタンシン治療の第Ⅱ相臨床試験
9	R3	R5	仁保 誠治	国立がん研究センター	特任研究員	ROS1融合遺伝子陽性の進行固形がんに対する治療開発を目指した研究
10	R3	R5	高橋 義行	東海国立大学機構	教授	GD2陽性固形腫瘍に対する非ウイルスベクターを用いたキメラ抗原受容体T細胞製剤の開発
11	R3	R5	宮原 慶裕	三重大学	教授	MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第Ⅰ相治験
12	R3	R5	柳生 茂希	信州大学	教授（特定雇用）	EPHB4受容体高発現悪性固形腫瘍を対象とした非ウイルス遺伝子改変CAR-T細胞療法の第一相医師主導治験
13	R3	R5	小賤 健一郎	鹿児島大学	教授／センター長	独自開発・革新性能の増殖制御型アデノウイルスの骨腫瘍（希少・難治性がん）承認への第Ⅱ相医師主導治験
14	R3	R5	山田 健人	埼玉医科大学	教授	核内移行する抗体へのRNA ポリメラーゼⅡ 阻害分子の結合によるがん分子標的療法の開発
15	R3	R5	宮園 浩平	東京大学	卓越教授	Mesenchymal型神経膠芽腫に対する新規治療法の開発
16	R3	R5	飯田 忠	東海国立大学機構	病院助教	間質変容誘導による免疫チェックポイント阻害剤感受性改善薬の開発
17	R3	R5	青木 孝浩	千葉大学	助教	同種CD19-キメラ抗原受容体(CAR) iPS-NKT細胞療法の開発
18	R3	R5	澤田 武志	京都大学	特定講師	固形癌に対するGPC-1 CAR-T療法の実用化に向けたex vivo安全性/有効性評価法の確立
19	R3	R5	浜部 敦史	札幌医科大学	訪問研究員	局所進行直腸癌に対する術前ctDNA検査をコンパニオン診断薬とする術前治療至適化技術の開発に関する研究
20	R4	R5	眞田 文博	大阪大学	寄附講座 准教授	化学療法抵抗性トリプルネガティブ乳がんの新規治療法開発に関する研究

21	R4	R5	神田 善伸	自治医科大学	教授	成人T細胞性白血病/リンパ腫に対するTax特異的T細胞受容体遺伝子導入免疫細胞療法の開発(非臨床試験最終段階)
【領域4】患者に優しい新規医療技術開発に関する研究						
1	R3	R5	本田 一文	日本医科大学	大学院教授	膵外分泌機能を評価する血液バイオマーカーを用いた膵がんリスク疾患・早期膵がんの診断法の臨床開発
2	R3	R5	山下 太郎	金沢大学	教授	ラミニンγ 2 単鎖測定による高悪性度膵がん診断、治療効果予測の前向き研究
3	R3	R5	中田 光俊	金沢大学	教授	膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化
4	R3	R5	矢野 友規	国立がん研究センター	科長	酸素飽和度イメージング内視鏡を用いた免疫チェックポイント阻害剤効果予測の研究
5	R3	R5	溝脇 尚志	京都大学	教授	動体追尾強度変調回転放射線治療技術の開発と実行可能性臨床試験
6	R3	R5	工藤 正俊	近畿大学	主任教授	肝腫瘍におけるAI支援超音波診断システムの実用化研究
7	R3	R5	三代 雅明	国立病院機構大阪医療センター	研究員	局所切除術後pT1 大腸癌の新たな根治度判定基準の確立
8	R3	R5	山田 幸司	慈恵大学	准教授	早期肝がんに対するPKCδを用いた新規高感度診断法の開発
【領域5】新たな標準治療を創るための研究						
1	H31	R4	大江 裕一郎	国立がん研究センター	副院長/科長	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+ベメトレキセドを
2	R3	R5	大幸 宏幸	国立がん研究センター	科長	切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究
3	R3	R5	北川 雄光	慶應義塾大学	教授	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験
4	R3	R5	岡本 勇	九州大学	教授	進行非小細胞肺癌に対する複合免疫療法の標準治療確立のためのランダム化比較第III相試験
5	R3	R5	石澤 賢一	山形大学	客員教授	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第III相試験
6	R3	R5	鈴木 健司	順天堂大学	主任教授	肺葉切除高リスク臨床病期IA期非小細胞肺癌に対する区域切除と楔状切除のランダム化比較試験
7	R3	R5	松岡 弘道	国立がん研究センター	科長	せん妄ハイリスクがん患者の術後せん妄予防におけるラメルテオンの有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検化プラセボ対照ランダム化比較試験
8	R3	R5	内藤 立暁	静岡がんセンター	医長	高齢者進行非小細胞肺がん/膵がんに対する早期栄養・運動介入とアナモレリン塩酸塩の併用療法の多施設共同ランダム化第二相試験
9	R3	R5	松浦 一登	国立がん研究センター	科長	頭頸部悪性腫瘍切除・遊離組織移植術の手術前ステロイド投与の有用性を検証する第III相多施設共同プラセボ対照二重盲検無作為化比較試験
【領域6】ライフステージやがんの特性に着目した重点研究						
1	R3	R5	宮村 能子	大阪大学	講師	「乳児急性リンパ性白血病の新規治療戦略確立をめざす国際共同第III相試験に向けた多施設共同第II相臨床試験」開発研究
2	R3	R5	多賀 崇	滋賀医科大学	准教授	ダウン症合併骨髄性白血病に対する標準的治療法の確立
3	R3	R5	村松 秀城	東海国立大学機構	講師	「一過性骨髄異常増殖症(TAM)に対する標準化学療法の確立を目指した第2相臨床試験」の開発
4	R3	R5	坂口 大俊	国立成育医療研究センター	診療部長	小児および若年成人における再発難治CD19陽性B細胞性急性リンパ性白血病に対する同種造血細胞移植後維持療法の確立に関する研究
5	R3	R5	花井 信広	愛知県がんセンター	副院長/ 外科部長	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験
6	R3	R5	中村 泰大	埼玉医科大学	教授	頭頸部基底細胞癌縮小マージン切除による新たな低侵襲標準治療の開発
7	R3	R5	嶋田 博之	慶應義塾大学	専任講師	初発小児フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病（Ph+ALL）に対する化学療法におけるダサチニブの適正使用推進のための研究開発
8	R3	R5	横山 泰久	筑波大学	講師	本邦における初発急性前骨髄球性白血病に対するATRA・ATO併用分化誘導療法の確立
9	R3	R5	慶野 大	神奈川県立こども医療センター	医長	初発時慢性期および移行期小児慢性骨髄性白血病に対する第2世代チロシンキナーゼ阻害薬の適正使用に関する研究開発
10	R3	R5	坂本 謙一	滋賀医科大学	助教	小児および若年成人のEBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症（EBV-HLH）に対する新規標準治療の確立
11	R3	R5	関水 匡大	名古屋医療センター	室長	小児リンパ腫に対する新規治療法の実用化を目指した研究
12	R3	R5	藤森 麻衣子	国立がん研究センター	室長	高齢進行・再発がん患者のニーズに即した治療選択・継続のためのアプリケーションを活用した高齢者機能評価とマネジメント強化による支援プログラム開発
13	R3	R5	高橋 利明	静岡がんセンター	部長	高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法のランダム化比較第III相試験
14	R3	R5	丸山 大	がん研究会	部長	高齢者多発性骨髄腫に対する標準治療の確立と治療効果・耐性獲得に関わる分子基盤の探索
15	R3	R5	高橋 進一郎	東海大学	准教授	Borderline resectable膵癌の標準的治療確立を目指した研究開発